

## 【めむろ未来ミーティング日程 11】

令和5年1月13日（金）

15:00～16:03

### 上芽室農業研修センター

（対象地区：上芽室区、新朝日区、報徳区、渋山区、渋山南区、報国区）

- 参加者 13人
- 芽室町 町長、副町長、教育長、環境土木課長、農林課長、政策推進課長補佐
- 記録 広報広聴係長

#### ■対応・検討が必要な事項

- ①渋山保育所跡地売却先への配慮について（都市経営課）
- ②障がい者福祉活躍ゾーンの今後の構想と要望（健康福祉課）
- ③総体、新プール周辺駐車場への要望（生涯学習課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項

- 資料1 公共施設等再配置構想
- 資料2 まちなか再生の取り組み
- 資料3 マイナンバーカード臨時窓口
- 資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

#### 4 意見交換

##### 【意見】

①渋山保育所の跡地の売却の関係で、年末の12月に農事組合に急に話が合った。

町の土地なので売却先について言及することはできないが、この件は、話としてはもっと前から出ていた話だったと思うが、どういう業者が入ってくるのか、事

務所なのかモータープールなのかかわかなくて、そういう情報は早めに聞かせて欲しいのが一つと、ただの転売目的のような業者が入らないようにしてほしい。

また、農家が多い地域なので、あのあたりは、季節が来れば農業機械も多く往来するし、種イモ倉庫も近くにあるため、入ってきた事業者にもご理解いただきたいし、地域の守ってもらいたいルールがあるので、そのあたりもちゃんとできるようにしてほしい。

##### 【副町長】

基本的には町としては地域で使われるということであれば、優先して使っていただきたいと思っているが、そのような方向性がない場合には、町としては使わなくなった町有地をただ財産として持っても仕方ないので、売却という選択肢を選ぶ場合がある。とはいえ、おっしゃるように地域の皆さんに不安を与えるようなことはあってはならないので、担当には入ってくる事業者にきちっと説明するようにしたいと思うし、また、説明することによって地域の不安が大きくなるようなことはないようにしたいと思うので、改めて再整理させてほしい。

##### 【町長】

新しい業者なり人が入るとなれば、やはり地域の皆さんとの関わりも出てくるので、情報提供や地域との話し合いもさせていただきたい。

##### 【意見】

1 ページの資料の公共施設再配置構想のところ、温水プール建設やいろいろなゾーンがあって進んでいることはわかるが、南が丘の方の浄水場の近くの地域に②障がい者福祉活躍ゾーンがあり、令和4年度に放課後デイサービス事業所活用と記載があるのはわかるが、将来的にこのゾーンを障がい者の皆さんのためにどう発展させていくのか、施設を作るのかなどある程度の構想などあれば聞かせてほしい。

##### 【町長】

現実に現時点で活用しているのは、雇用促進住宅の西側にある管理者住宅2棟のうち、1棟を放課後

等デイサービス事業所として開設している。付近一帯の構想は、当初は、レストランや障害のある方の支援窓口機能などの話もあったが、その後、状況が変わってきており、明確にどうするというは現在持ち合わせていない状況。グループホームなどの検討も進んでいるが、当初描いていた構想よりは、少し白紙に戻ったような状況。

ただ、将来的には障がいをお持ちの皆さんのために活用できるゾーンとしていきたい。逆にそういった声があれば、いただければと思う

#### 【意見】

②知的なり、身体なりの障がい者が、集まったり、各障がいのある方を支える団体の事務機能を置けるような施設を置いてもらえればありがたい。団体同士で話していても新規の建物は難しいよねという話にはなるが、それぞれの団体間の横のつながりを強くしていかなければ、親も子どもの将来が不安であったりするので、そうした当事者や支える人たちが集まったり、助け合えるようなゾーンになっていけばいいと思う。

町内には、グループホームや九神ファームさんの動きなどもあり、そういった団体とも連携できるような場所になり、障がい者の包括支援センターのようなゾーンになればと思う。

#### 【町長】

貴重なご意見ありがとうございます。

#### 【意見】

##### 1 まちなか再生のことで

今まで年代を超えていろいろな方が議論をしてきて、だいぶ詰まった内容になっていることと思うが、それらを今後、マップができてまちなか再生に着手してこういう風にしていくという段階になっていくにあたり、それらをかなえるために具体的にどのような手法で、どうしていくのか、期限はどうするか、支援はどうするかなど、見えてくればいいと思う。

たとえば、空き店舗を活用したい人の支援の流れはどうするのかとか、まちなかに集える場や人に寄り添え

るような場所づくりはどのようにするのか、などがあると思うし、ただ、商店街の一角を整備して終わりということにはならないと思う。

全体構想としてやっていくのであれば、町の支援も絶対に必要になってくると思う。それらを含めて今後、町がどのように進めていくのか、現段階で具体的にお聞かせいただきたい。

併せて高齢化が進み、自分の親も町には住んでいるが、同じ市街地には住んでいても、買い物の場所が1キロ先くらいのところもあり、きびしいようなところがある。特に冬なんかは除雪で歩道を歩けなくて車道を歩いてしまうなど、やはり課題も見えてきている。そのあたりも合わせて高齢者も住みやすい場所にどのようにしていくのかお話を聞かせてほしい。

#### 【町長】

今の流れとしては、おっしゃるとおり、まちなかをどんな形にしたいかたくさんの方の意見を土俵にあげていただいた。これからは町の責任としてビジョンを作るにあたり、取捨選択や役割分担(役場がやるべきか民間がやるべきか)、そして、財源、スケジュールが必要になってくると思うが、まだ、財源やスケジュールを整理できる段階にない。

そこでまずは官民の役割分担と、拠点となる場所づくりは必要だと思っていて、シンボリックなものになると思うが、そこは公というか町として整理しないといけないと思う。どのようなものを設置すべきかも含めて整理をしたい。

そのうえで、民の力ということで、そこに起業したいというような人たちが入りやすい受け皿となるようなソフト事業にはビジョン作成と同時並行になるが、手を打っていき、官の拠点づくりと、民の皆さんが入ってくるものを、官民で相乗効果が出るようにして町を盛り上げていきたい。そのような感覚を持っている。

ソフト部門、ハード部分、そして役割分担を整理していきたいと考えているが、では、それにいくらかかるのか、財源はどうするのかということはその次の段階とと思っている。

頭の中にあるのは、特に市街地に宿泊が少ないと

いう点で、工事現場に入ってこられている皆さんが主に宿泊するような宿泊所はある程度あるが、観光拠点的な宿泊施設がないので、滞留できず、泊まる場所は隣の帯広市になってしまうようなことがあるので、そういった宿泊施設も拠点の一つになりえると思うし、要望も多くいただいている温浴施設の検討や、農家の皆さんなどが六次産業化などみのり一むはあるが、飲食店さんのメニュー作りも含め、地元の農産物の加工にチャレンジできるような施設というのもありではないかなどイメージしている。ご意見の中には第2のめむろ一どのような大きな拠点はどうかといったご意見などいろいろな声もある。おおまかな話ではあるが、このような段階を踏んで進めていきたい。

そしてもう一点の高齢者の方の足の確保は非常に重要な課題だと思う。農村部だけではなく、市街地の中でも免許返納などが進み、移動に対する課題というのは増えていくと思う。ただ、じゃがバスを走らせているからよいということではなく、いろいろな方策を考えていかないといけない。あるいは歩ける範囲の整備、除雪の在り方も含めて考えていかなければならない。いずれにしても、どちらかというコンパクトに町の中心部に寄せていくという考え方がベース。

#### 【意見】

拠点施設となると広いスペースが必要だと思うが、中心部にそのような場所があるかという点で厳しい。では、既存施設を使うとなれば、規模縮小になると思うが、それで機能するのかといった検証も必要になると思う。どこか空いているところならばどこでもいいとも言えないので、財政的な問題もあるが、住宅地は広がる一方で、戸建てを建てても、年を取ってしまうとどこにも行けないというような課題にも直面する。

このような課題へのアプローチについてもぜひ、まちなか再生の構想の中に入れていってほしいと思う。

公営住宅もかなり老朽化して住めなくなっているところもあると思うが、住民生活への不安も煽らないように、特に西側は老朽化している公営住宅が多くあるの

で、そのあたりも含めてお願いしたい。

2つ目の意見は、運動施設や公共施設の集約が進んでいるが、メムロスキー場のことも含めてお話ししたいのは、今、新嵐山スカイパークとして、冬も夏場もいろんな楽しみ方ができるようにしていると思うが、その中で町長もおっしゃるようにお客さんと呼べる宿泊というのが、芽室にはビジネスホテルはあるが、新嵐山しかないのかなと思う。しかし、新嵐山の宿泊施設も50年以上たっていて、ここ最近の宿泊者数も少ないと聞いている。なので、宿泊施設そのものが本当に必要なかどうかということも含めて考えないといけないと思う。宿泊施設が重荷になっていないかということが懸念されるが、重荷にならないために変えていくとなれば、やはり相当な投資をする覚悟をしないとけない。ただ、ここで投資すれば、また何十年後かには同じ課題に直面すると思うが、町としての新嵐山の宿泊部門に対してどのような方向性を考えているのか聞きたい。

併せて現状の民間会社の管理体制が、町民に素直に受け入れられていない部分もあるように若干見えるが、どう考えているか。

#### 【町長】

まず、まちなか再生の部分ですが、町全体の公営住宅の在り方は課題であるが、住んでいる方にお話を聞くと、家賃の関係で、新しいところに行くと家賃が上がってしまうということも悩ましい状況である。それでも動いてもらうためにはどうするべきなのかといったこと、例えば家賃補助をするのかといったこともトータルで考えないとけない。

また、仮に西側の公営住宅の廃止を進めていくと、非常に大きな面積になって残る。そのあたりをどう活用するか、宅地造成なのか買い物ができる施設なのかなど、いろいろな視点で考えていかないとけない。

新嵐山の件は、宿泊施設もしっかりですが、スキー場も含めて整備費用がおおよそ14億5千万かかるという試算を一度出したが、このうち、約8億はリフトの

架け替え、残りのうち約3億円は宿舍をまるごと建て替える場合という試算なので、残り3億5千万円はもちろん小さな額ではないが、できる部分から少しずつ改革を進めている。

ですが、なかなかご意見にあったようにいろいろとまだまだご理解いただけない部分もあるので、改めて「新嵐山スカイパーク自分ごと化会議」というものを無作為抽出2,000人の方にご案内し、現在、40人ほどの委員でまっさらな状態で議論していただいている。

そうならば宿泊施設も必要なのか、もっと言えばスキー場も必要ないのではないかというような議論もあるかもしれないと思っている。町としてはスキー場をやめるという考えはないが、でも宿泊がこのような現状であれば、そこも見直すという意見も踏まえながら、場合によっては今とは異なるコンセプトの場所にしようというような結論が出てくるかもしれない。残念ながら新型コロナの影響で宴会がないということの打撃もあるが、ただ、今年はスキー場は単体では黒字になると思う。

新嵐山はこれから計画を見直すところだが、まずは現在の赤字を解消しなければ、町として次の投資というわけにはいかないと思っている。指定管理先にはまず、サービスを維持しながらの経営改善が最優先として求めて進めている。計画の見直しと経営の改善を当面の大きな目標としてやっていきたい。しっかりと状況をオープンにした中で、ご意見をいただき将来の方向を見据えていきたい。

#### 【副町長】

会社のことで言うと、社員の基本的な考えとしてはお客様ファースト。お客様に楽しんでもらうことが第一でそのために、スキーだけではなく、夏のキャンプなどいろいろな楽しさを提供していきたい。

別の会場からは、今まで無料で借りられた部屋などが有料化することへのご意見もいただいたが、株式会社である以上、経営改善をきちっとやるということが議会の要請であったり、いろいろな声としてある以上、今までのやり方についてもゼロベースで変えていかなければならないことについては、ご理

解をいただきたいし、なぜ、そうするのかということの説明責任もしっかり果たしていこうという考えで進めている。

#### 【意見】

メモロスキー場については、そもそも子どもたちの数も少なくなってきた中で、町内だけでなく広い視野で子どもたちへ冬のスポーツをいかに体験させてあげるかということ、あの場所を生かすということは忘れて考えてほしい。

広い視野でみると、ともすれば別に新嵐山じゃなくてもいいよねという話にもなってしまうと、そういう情報はほかにも広がっていってしまうと思うので、やはり今来てくれている子どもたちが、留まれるような場所にしてほしいし、留まれるようにしようと子どもたちを囲んでいる人達も同じように楽しめるようにしてほしい。

そして、当然、消費者としては安ければいいけれど、私もただではダメなんだと思う。その辺の駆け引きもあるが、来てくれた本人も連れて行った周りの人も「連れて行って良かったね」となれる場所にしてほしいと思う。

それは、冬から夏にもつながっていくし、キャンプ場がゲレンデの麓の場所に移ったけれど、元の場所はどうなんだという話もないことではないと思うので、その辺も含め、あのエリアを自然と共生したエリアとして進めてほしい。

#### 【意見】

中学校の関係で、運営協議会に参加しているが、部活動が成り立たない話が盛り上がる話題。特に、西の方は生徒数も少ない中で、小学校まで一生懸命やってきたのに、中学校に行くとその競技ができない、もしくは芽中でやらせてもらえる環境もあるが、クラス減で先生がつけなくてできないといったことが出てきてしまう。

クラスが増えても、先生がそんなに増えないということで、やはり顧問もできないというような状況だと思うので、部活動は課題があると思う。子どもは鹿追と一緒に合同チームになるなどの状況で、やはり「芽室町」として一つでやれる部活動というのを考えていくこ

とは難しいのだろうか。野球ができない、サッカーができないといったある程度、大きな部もできない環境ができていの中で、世の中的には外部コーチを招へいする動きもあると思う。理想としては、芽室町の単位で各競技一つずつ町に部活ができるようになることが望ましいが、クラブチームも入り込んでくると、親に余裕があればクラブチームに所属する子どもも出てきて、なおのこと自分の学校の部活としては成り立たない状況に陥ると思うので、今の段階での考え方を聞かせてほしい。

#### 【教育長】

部活動については、どの学校も、帯広市などでも大きな学校同士で合同チームを組むような時代になってきた。20年前くらいから確実にそうなると言われてきたものが、現実になってきた。小学校でできた競技が、中学校でできないという状況もでてきている。

昔の少年団や部活の在り方のままで、現在までそのまま進んできてしまっているのが、必然的に縮小せざるを得ない状況になってきている。西中においても生徒数が減る中で、部活数は同じ状況であるので限界が来ている。そういった中で、町内で合同チームを作ったり、クラブチームを地域の人材を活用して受け皿を作っていく段階になってきている。

それが部活動の地域移行という形で、持続可能な部活動、クラブチーム作り、何と言っても子どもたちが「勝ち負けだけでなく、生涯を通じてスポーツに親しむ」そういった受け皿を作る必要があるという国の動きを踏まえて、町でも取り組みを進めるところである。

具体的には、新年度は部活動の地域移行について、いろいろな地域の方、関係者の方に集まっていたら、知恵と力をお借りしながら持続可能なクラブ活動を構築していきたい。

芽室町ではどのような形が望ましいのかということを作り上げていきたい。地域の人材もなかなかいる状態ではないが、今まで以上に地域の皆さんのお力借りながら進めていきたい。

合同チームについてはいろいろな競技で動きがあ

り、おっしゃるようにバスケはいろいろな町と組んだりという状況だが、町内全体で一つの部活動というのも出てくると思う。協議会を立ち上げた中で、一年ごとに変わるのには生徒も職員も保護者も混乱するので、少しでも持続可能な体制にもっていけないかと協議していきたい。

併せて新年度から中体連の中に、クラブチームも大会に出れる動きになってくると新しい風が吹いてきている。それに伴う動きも変わってくると思う。

いずれにしても子どもたちが、自分がやりたいスポーツができる環境を整えるように全力で取り組んでまいりたい。

具体的には令和5、6、7年度で準備を進め、令和8年度からはすべての部活で、教員が部活動を抱える形から、地域が支える部活動として移行していくという流れになってくる。ぜひ、協議会も立ち上げるので、引き続き知恵をお借りしていきたい。

#### 【町長】

学区の問題や、学校とクラスのこととも考えていかなければならない。令和8年度までは今進めている配置計画に基づいて進めていくが、避けて通れない議論。

令和9年度以降に向けては学校の形の変化などいろいろな要素が関連してくる。現に出生数も今年の成人式は200人を超える対象者に案内したが、今の出生数は100人くらいに半減している。そういった中でももちろん、少子化対策もしていくが、急に子どもが増えるわけではない。また、教員の働き方改革など多くの要因がある。いずれにしても地域のお力も借りなければ、これからの部活動は成り立たなくなっているし、そのための仕組みをどう作るかということだと思う。保護者の皆さんも含め、ご意見を伺いながら進めていきたい。

#### 【意見】

温水プールについて、自分の子どもも水泳少年団で活動しているが、いろいろな情報が飛び交っていて何が正しいかわからなくなっている。

現在、年2回大会を開いているが、新しい施設では施設の基準によっては大会ができなくなるようなことも聞いている。今後も大会ができるような施設なのかということ、少年団もなくなるという話や、今後は、一般企業のオカモトグループさんが施設を管理すると聞いている。また、入浴の施設も一緒にというようなことも聞こえる。何が正しいのか知りたい。

#### 【町長】

年2回の大会については、いままでは公認プールを取っていたが、検討した結果、公認をとらない形になったので、大会を実施しても記録が正式に公認されないということは、申し訳ないがある。

ただ、学校の授業での活用や町民の皆さんの健康づくりでは重要な施設であり、今後もご活用いただきたい。

水泳少年団のことは初めて伺った。

入浴施設のことについてであるが、全体の運営はおっしゃるとおりオカモトグループで正しい。この温浴施設については、プールを建設する事業者から、利用者の利便性向上のためにサウナを含めた温浴施設を作りたいという提案があって、利用者のためにもなるので、進めてくださいとなった。

誤解があるのは、町がはじめから温浴施設をプールに作ろうということではなく、指定管理という仕組みの中で通常の管理をしていただくのと、プラスアルファのサービス提供というものが事業者側からあったので、利用者のためにもなるしいいねということで進めることになったということをご理解いただきたい。

だが、ご承知のように、この話が出たタイミングで、鳳の舞さんが続けられないという状況になり、町としては公衆浴場を確保しなければならないという責務もある中で、たまたま今回のお話が出てきたため、オカモトグループにお尋ねすると、この温浴施設について、公衆浴場としても申請してもいいですよという話になり、保健所の申請が通れば町としても公衆浴場の一つとして位置付けて、それに対して公衆浴場の枠組みの中でこれまでのように支援するということがあった。

一方、まちなか再生の観点で、温浴施設がほしいよねという話もあるので、プールの温浴施設以外にもそういったものができないのかという観点で、模索している段階である。町が公としてそうした施設を運営するという考えはないが、民間の中でやっていたりするようなところがないかについては引き続き模索していきたい。

プールについては、そのような経過で、温浴施設はもちろんプール利用者も使えるので是非ご利用いただきたいと思っている。また、勤労青少年ホームもトレーニング室に改修にするが、ここも指定管理者が管理をしていく。スタジオやランニングマシンなども充実させて、オカモトさんとしては西十勝全体をターゲットに運営していきたいとのことである。

部活もそうであるが一般の町民の皆さんのトレーニング、健康のために使ってもらいたいと思っている。

それと、プールの温浴施設は、男女ともに、浴槽一つと、サウナ、洗い場5つくらいのようなコンパクトなものであり、規模はコンパクトなものである。

#### 【意見】

アスリートミュージアムはどこにできますか？

#### 【教育長】

現在、自動販売機があるあたり一体に整備したい。プールとの連結部分らへんであり、階段も残る。

#### 【意見】

③駐車場のところにプールができるので、駐車場が今よりも狭くなると思うが、どのように対策をするのか。体育館の正面の駐車場が狭い。週末に大会があると、入れないような状況もある。植栽があるところなんかは駐車場としてしまったらいいのではないかと思う。

#### 【町長】

新たに造成する部分や西から出入りできるようにするなど、対応を予定しているが、ご意見として承りたいと思う。

【意見】

卓球場を動かすという考えはなくなったのか？

【町長】

なくなった。卓球場をトレーニング室におろすという話もあったが、結論としては冬の子どもたちを遊ばせる場所という要望もあり、今のところをトレーニングルームをキッズスペースとして有効利用できないかという考えを持っている。



16:03終了